

科 目		必・選	担 当 教 員	学年・学科			単位数	授 業 形 態		
テクニカルライティング (Technical Writing)		選	後藤多栄子	1 年生 共通専攻			学修単位 2	後期 週 2 時間		
授業概要		英文で論文を書く上に必要な基本的技術を修得するために、テキストを読み進め、例を使用して演習をととして、各自の研究テーマに基づいた論文を作成する。								
到達目標		英語論文の基本的書き方を修得し、その技術を使用して、各研究テーマの成果を英語論文としてまとめる。								
評価方法		1. 課題（40％） 2. 論文（60％） 1と2の方法にて目標達成度合い 60%以上で合格とする。								
教科書等		The Elements of Technical Writing, Third Edition by Thomas E. Pearsall								
内 容		(1回の自宅演習は260分を目処にする。)						学習・教育目標		
第 1 回	Course Briefing	(自宅演習)						D		
第 2 回	Purpose	(自宅演習)						D		
第 3 回	Audience	(自宅演習)						D		
第 4 回	Audience	(自宅演習)						D		
第 5 回	Organize Your Content	(自宅演習)						D		
第 6 回	Outlines	(自宅演習)						D		
第 7 回	Paragrah for Readers	(自宅演習)						D		
第 8 回	Language Appropriate for Readeres	(自宅演習)						D		
第 9 回	Active Verbs	(自宅演習)						D		
第10回	Subject-Verb	(自宅演習)						D		
第11回	Parallelism	(自宅演習)						D		
第12回	Headings	(自宅演習)						D		
第13回	Good Page Design	(自宅演習)						D		
第14回	Think Visually	(自宅演習)						D		
第15回	Write Ethically	(自宅演習)						D		

※合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

科目名 テクニカルライティング 共通専攻 1年生

ガイダンス

The Elements of Technical Writing, Third Edition 英語の教科書を使用する。

英文で論文を書く上に必要な基本的技術を修得するために、担当者を決めてテキストを読み進め、演習をとおして、各自の研究テーマに基づいた論文を作成する。英語論文の基本的書き方を修得し、その技術を使用して、各研究テーマの成果を英語論文としてまとめます。